

研究データマネジメント部会 企画セッション
中国四国コンソーシアムの活動について

西村 浩二

広島大学 副学長 (情報担当)

広島大学 財務・総務室情報部長

広島大学 情報メディア教育研究センター



広島大学



中国四国コンソーシアムの活動 (1/2)

- 当該地区における研究データ管理ポリシーの策定・運用の支援・推進
 - 当該地区設置機関の研究データ管理ポリシーの策定状況の把握
 - 研究データ管理ポリシーの策定やGakuNin RDMの構築・運用に関する情報共有を通して、OA加速化事業等を含む研究データエコシステムの構築を目指す
 - 「国立情報学研究所研究データ管理・公開ポリシー (試行版)」を雛型とした各機関への展開
 - 各機関の状況に即した基本方針及び実施方針 (実施手順) の策定のための勉強会・情報交換会
 - シンポジウム・セミナーの実施 (キックオフ、シンポジウム、勉強会) による情報共有
 - クラウドサービス利用シンポジウムや大学DX勉強会、AXIES各部会とのコラボレーション

	都道府県	大学名	研究データポリシー	GakuNin RDM	OA加速化事業
国立	鳥取	鳥取大学	○ (2024.03.13)	○ (2024.01.12)	–
	島根	島根大学	※1 (2020.04.01)	○ (2022.08.16)	区分3
	岡山	岡山大学	○ (2024.02.15)	○ (2025.10.10)	区分2
	広島	広島大学	○ (2022.06.21)	○ (2019.08.29)	区分1
	山口	山口大学	○ (2024.04.01)	○ (2021.11.15)	区分2
	徳島	徳島大学	○ (2024.03.07)	○ (2022.07.15)	区分3
	徳島	鳴門教育大学	○ (2022.10.12)	–	–
	香川	香川大学	○ (2024.02.16)	○ (2023.07.18)	区分2
	愛媛	愛媛大学	○ (2023.03.08)	○ (2022.01.17)	区分2
	高知	高知大学	※2 (2025.03.13)	–	区分3
	島根	島根県立大学・島根県立大学短期大学部	○ (2025.05.28)	–	–
公立	広島	広島市立大学	○ (2025.02.26)	○ (2024.11.15)	–
	山口	山陽小野田市立山口東京理科大学	○ (2024.04.23)	○ (2024.12.06)	区分3
	高知	高知工科大学	○ (2025.02.01)	○ (2024.05.10)	–
	岡山	ノートルダム清心女子大学	○ (2024.03.28)	○ (2025.03.21)	–
私立	広島	広島修道大学	○ (2024.04.10)	○ (2024.10.11)	–
	広島	海上保安大学校	※3 (2021.9.15)	○ (2024.11.15)	–

中国四国コンソーシアムの活動 (2/2)

- 研究支援活動における**AI活用**とDX推進
 - 文献調査システムIntellectraの共同利用
(→ 研究支援活動への利用)
 - 非定型ドキュメントを検索可能な形式に変換して利用
 - ドキュメントの言語に関わらず母国語で会話
 - 回答の生成過程の提示・確認による信頼性の確保
 - 個人・機関・コンソ全体のデータソース選択・管理
 - 質問者と回答者のペルソナ (役割) を設定して利用
 - テナント内のデータの二次利用なし
 - GakuNin RDMとの連携**
 - 将来は外部の公開データソース (CiNii Research, JAIRO Cloud等) との連携も
- AIを活用したDX研修の実施**
 - Intellectra講習会
 - 2026/1/28 : オンライン
 - 2026/3/18 : ハイブリッド (クラウドサービス利用シンポジウム内)
 - Copilot活用研修
 - 機関/地区での勉強会を支援
 - Intellectraテナント外部からの教育利用なども想定
 - 大学DX勉強会と連携

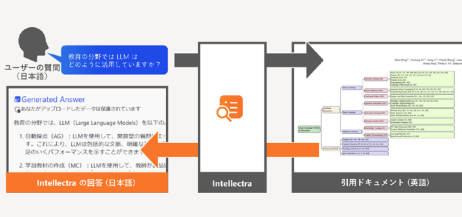
01. 非定型なドキュメントの利用

非定型のドキュメントをアップロードする際に検索可能な形式に自動変換するため、画像や表の中の情報もデータソースとして利用できます。



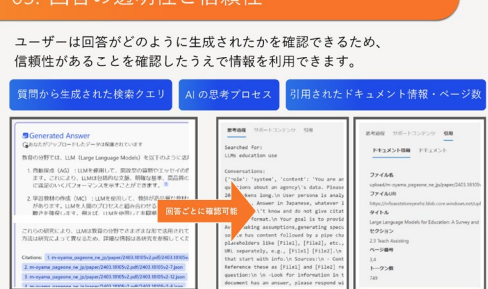
02. 多言語対応

ドキュメントの言語にかかわらず、ユーザーが母国語で質問すると質問した言語で回答が生成されます。



03. 回答の透明性と信頼性

ユーザーは回答がどのように生成されたかを確認できるため、信頼性があることを確認したうえで情報を利用できます。

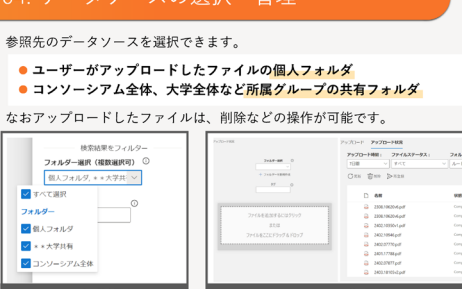


04. データソースの選択・管理

参照先のデータソースを選択できます。

- ユーザーがアップロードしたファイルの個人フォルダ
- コンソーシアム全体、大学全体など所属グループの共有フォルダ

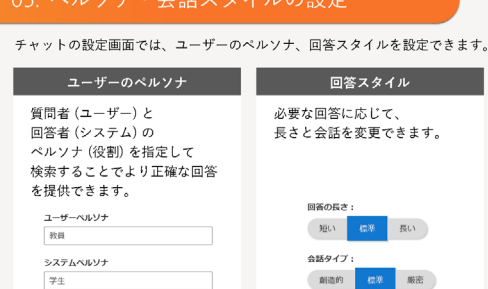
なおアップロードしたファイルは、削除などの操作が可能です。



05. ペルソナ・会話スタイルの設定

チャットの設定画面では、ユーザーのペルソナ、回答スタイルを設定できます。


ユーザーのペルソナ	回答スタイル
質問者 (ユーザー) と回答者 (システム) のペルソナ (役割) を指定して検索することでより正確な回答を提供できます。	必要に応じて、長さと会話を変更できます。



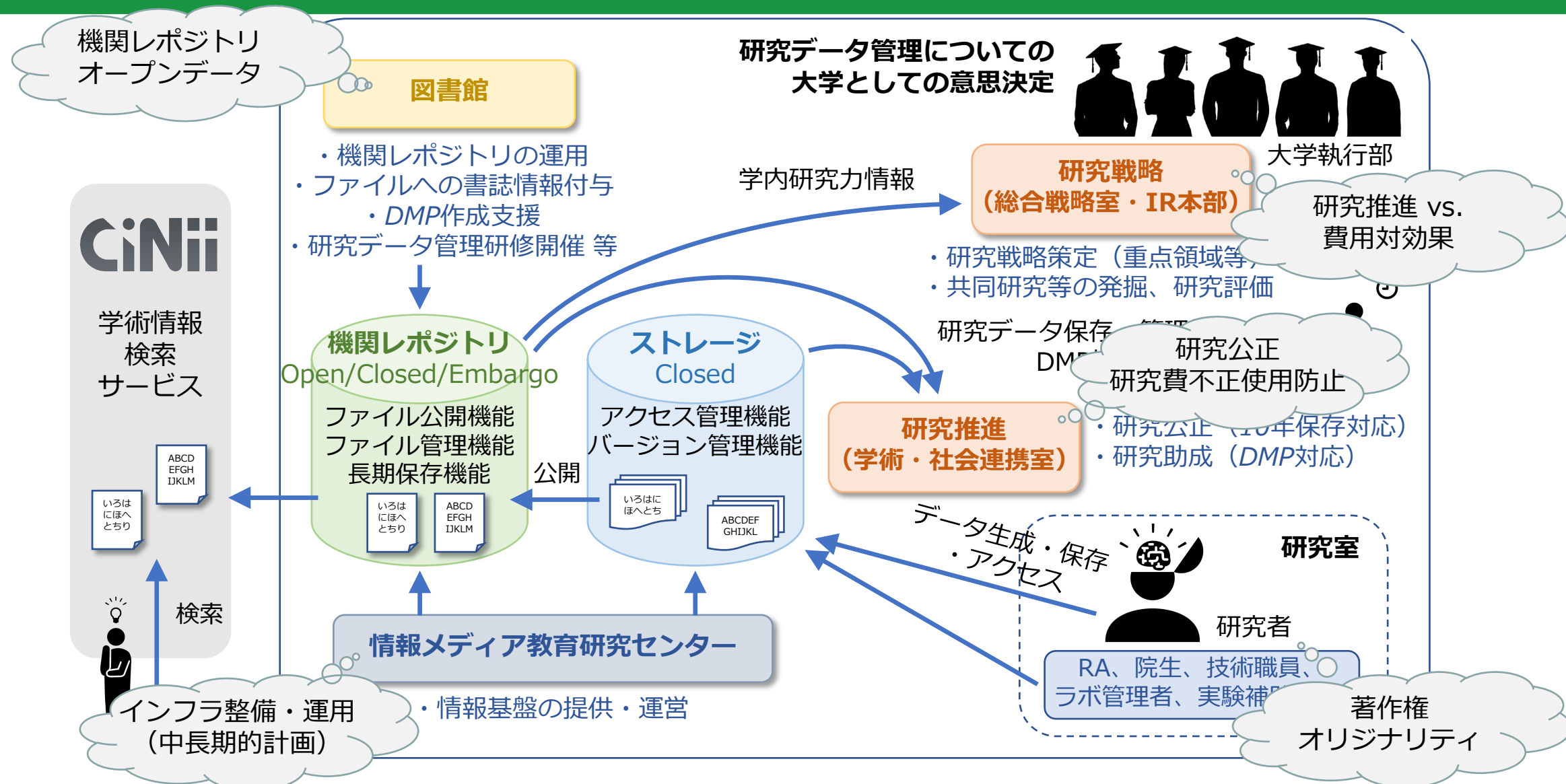
06. セキュリティ対策

Intellectra では、 Azure OpenAI を使用しているため、会話データやデータソースとしてアップロードしたデータは **Open AI 社や Microsoft 社のトレーニングデータとして二次利用されません。**

またデータソースとしてアップロードしたデータは Azure テナント内に保管されるため、外部にデータが漏れることがなく安全に利用できます。



「研究データ管理」に対する目的意識の共有

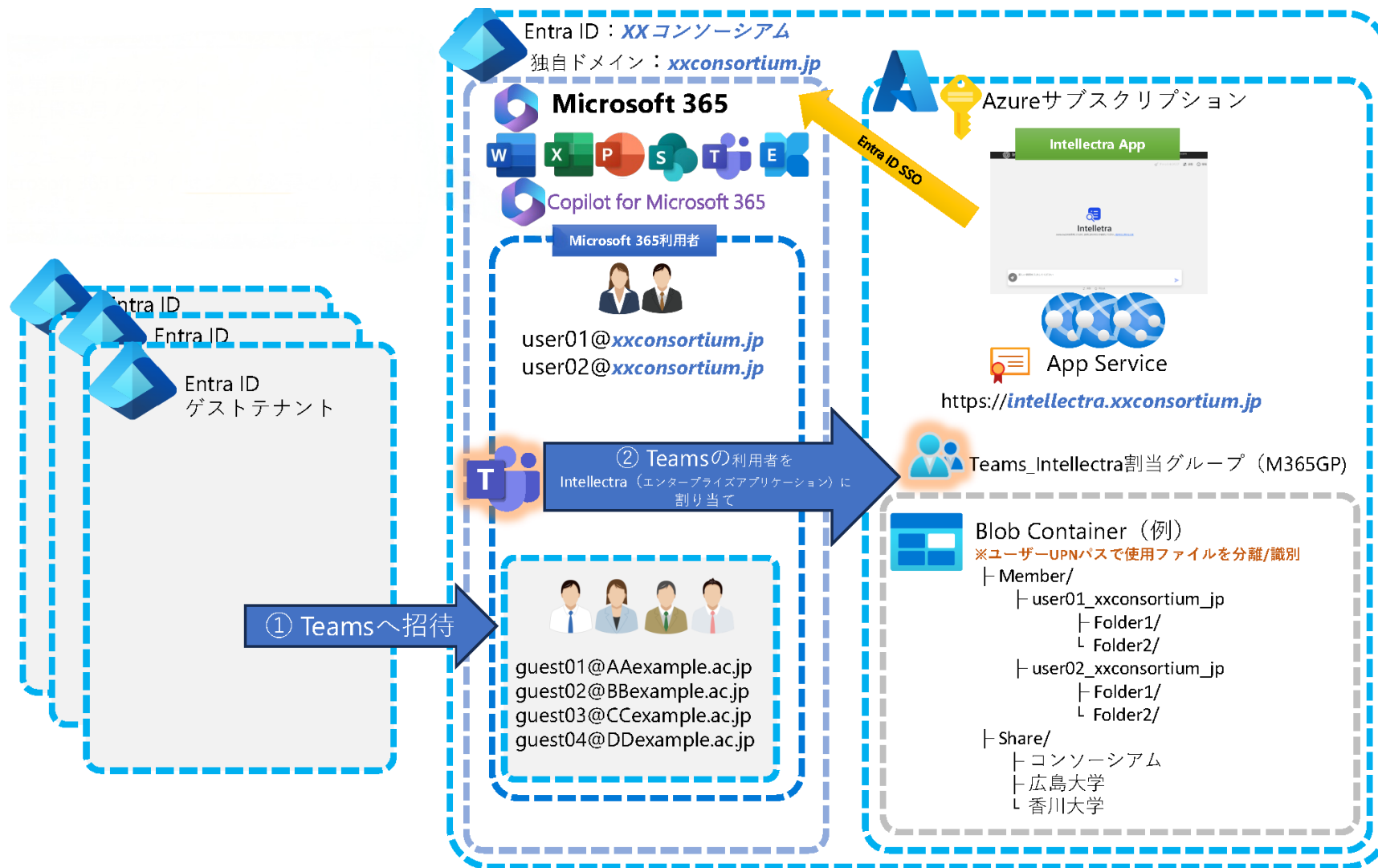




- ## ◆ 小さいループ

- **クローズド**な研究データエコシステム
- 非公開 (閉域内) を前提とした環境での研究データの利活用
 - ✓ 機微な情報を含む可能性
- GakuNin RDMとの間でグルグル
 - ✓ 短い時間で複数のサイクル (共同研究等における活発な活用) に期待

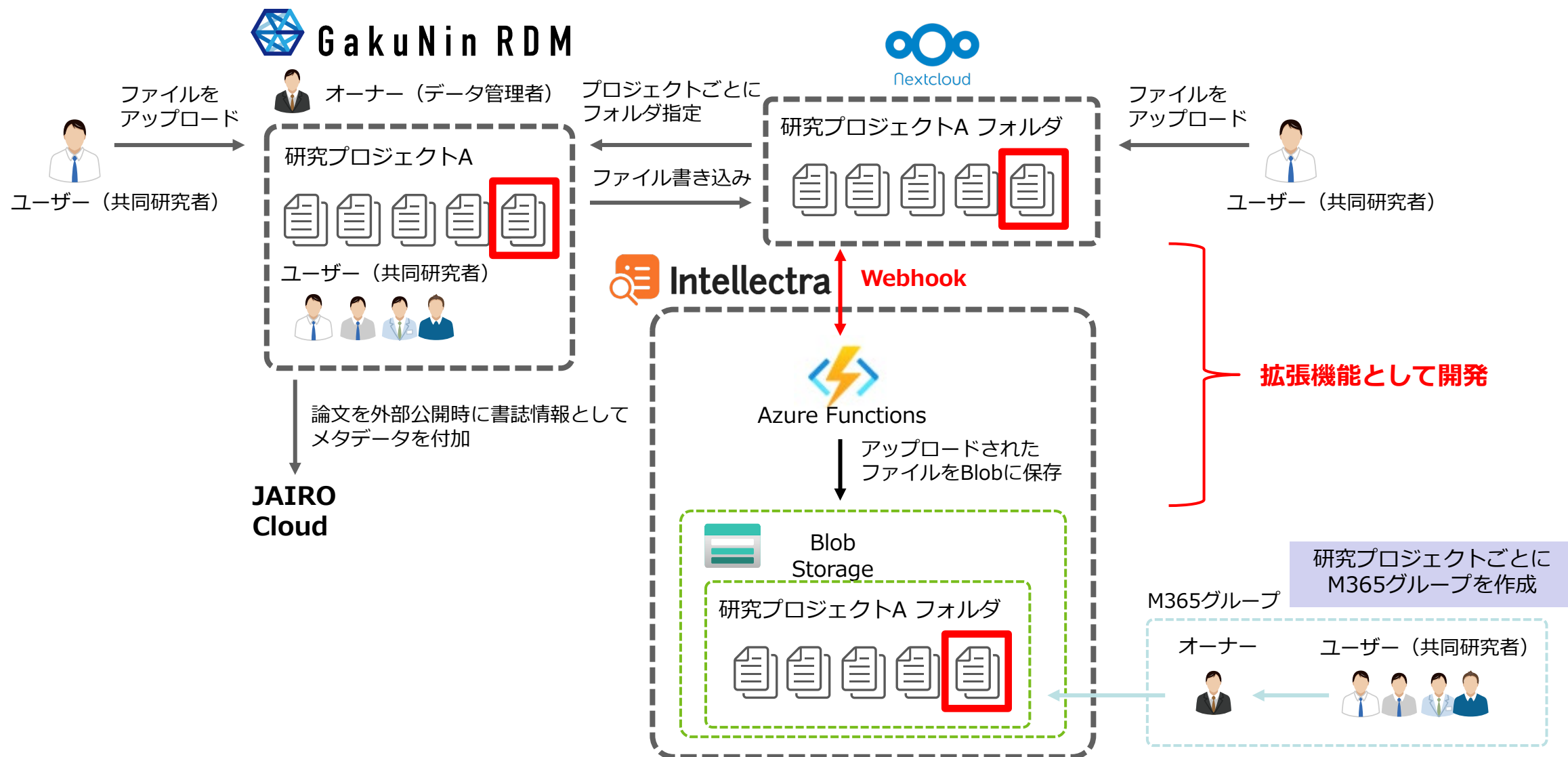
文献調査システムIntellectraの共同利用



◆ Microsoft 365テナント

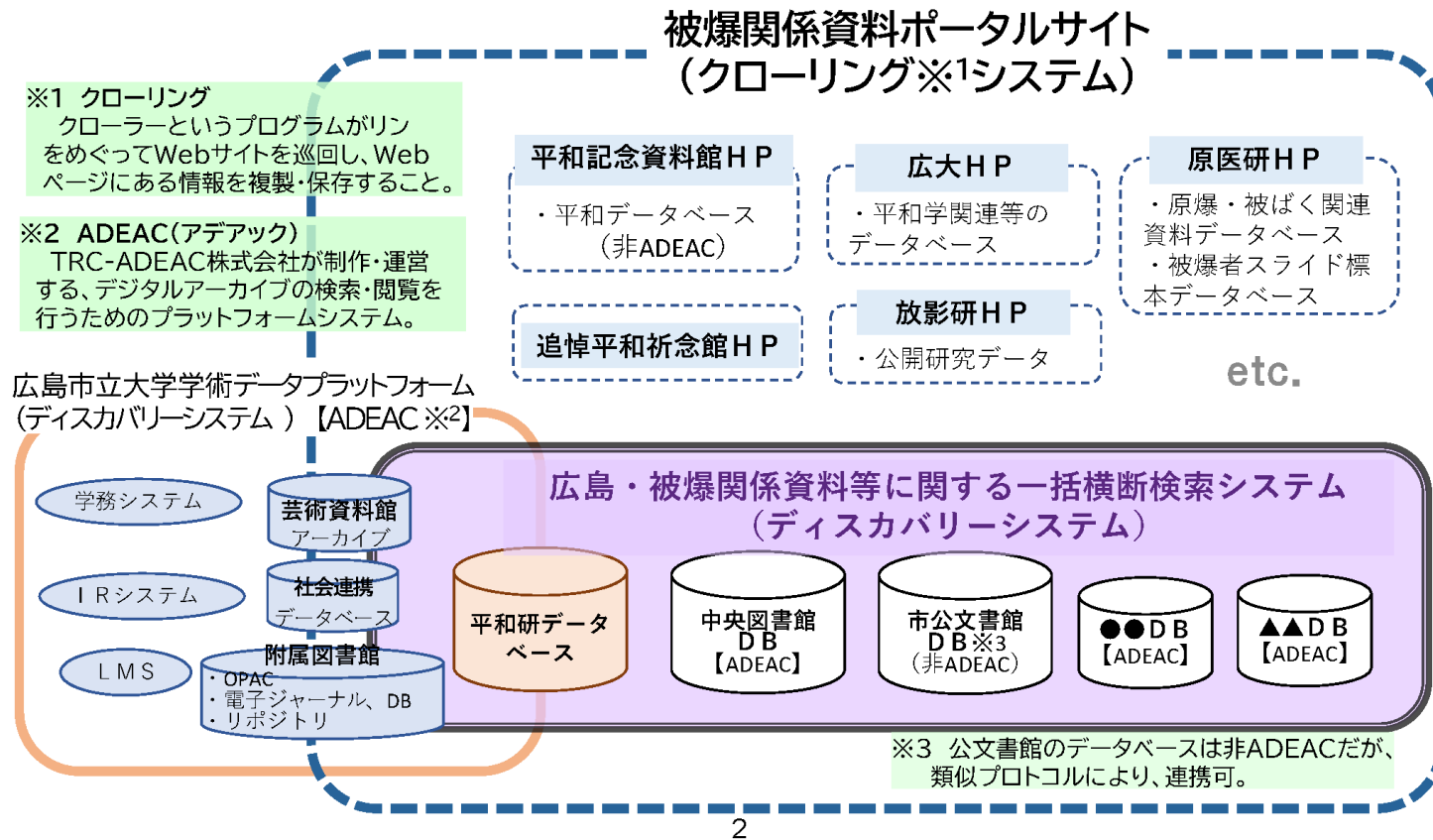
- 中国四国コンソーシアムで運用
 - ✓ Microsoft Azure上に構築したIntellectraと連携
- プロジェクトメンバーの割当
 - ✓ プロジェクトリーダーは、チームの所有者として登録 (M365テナントのA1ライセンスユーザとしてチームを管理)
 - ✓ プロジェクトメンバーは、該当するチームにゲストユーザとして招待
 - ✓ GakuNin RDMのプロジェクトメンバーとは連動しない
- Intellectraのグループ
 - ✓ M365チームに連動
 - ✓ ユーザ単位、グループ単位でBlog Containerを共有
 - ✓ コンソ全体や機関単位も可

GakuNin RDMとの連携のための機能拡張



クローズドな環境でのドキュメント探索の活用計画： ヒロシマ平和研究教育機構 ディスカバリーシステム

ディスカバリーシステムのイメージ(案)









大学等連携推進法人 (2024年3月28日認定)

- 広島市、広島大学、広島市立大学、広島平和文化センターが連携
- 事業(目的)：平和に関する研究、教育・人材育成、情報発信・提言
- 課題と目標

- ✓ 広島・被爆関係資料には非定型ドキュメントが多く、検索可能な研究データとして取り込むことが難しかった
- ✓ Intellectraを活用し、非定型ドキュメントを取り込み、横断検索を試行する
- ✓ また、取り込まれた研究データに匿名化・仮名化等の処理を行うことで教育データとしての活用を検討する

今後の予定

- 第3回中国四国コンソーシアムシンポジウム
～誰が何をやる？研究データ管理支援～
 : 2025年12月26日 (金) 13:00～17:00
 : 広島コンベンションホール
 - 研究推進支援 (URA)、研究者、図書館員、情報基盤センター、研究推進室などの連携のあり方について議論
- Intellectra講習会
 : 2026年1月28日 (水) 午後
 : オンライン
 - 研究プロジェクトにおけるGRDMとIntellectraの連携の活用シーンを体験
- 第4回中国四国コンソーシアムシンポジウム
(Intellectraハンズオンを含む)
 : 2026年3月18日 (水) 午後
クラウドサービス利用シンポジウム (3月18日 (水) ～19日 (木) と併催)
 : 広島大学東千田キャンパス未来創生センター
 - コンソーシアム参加機関におけるGRDMの活用事例・計画等の紹介 (予定)